

市

71
st

展

2023

WAKAYAMA CIVIC
ARTS
EXHIBITION

第71回和歌山市美術展覧会

会期

- 1st 6/28^(水)～7/3^(月)
日本画・工芸・いけ花
ギャラリートーク：7月2日(日)13:30～15:00
- 2nd 7/5^(水)～10^(月)
書道
ギャラリートーク：7月9日(日)13:30～15:00
- 3rd 7/12^(水)～17^(月・祝)
洋画
ギャラリートーク：7月16日(日)13:30～15:00
- 4th 7/19^(水)～24^(月)
写真・彫塑
ギャラリートーク：7月23日(日)13:30～15:00

会場

和歌山城ホール
(展示室) 10:00～17:00
入場無料

出品目録

主催 和歌山市・公益財団法人 和歌山市文化スポーツ振興財団 (和歌山城ホール)
後援 読売新聞和歌山支局・朝日新聞和歌山総局・産経新聞社・毎日新聞和歌山支局 (順不同)
お問い合わせ 和歌山城ホール 〒640-8156 和歌山市七番丁25番地の1 ☎(073)432-1212
和歌山市文化振興課 〒640-8511 和歌山市七番丁23番地 ☎(073)435-1194

[洋画]

[全体評]

今回から、無鑑査は50号となり、充実した作品が観れた。一般出品も若干昨年より点数が多く、とくに高校生の作品が形に填ることなく、明るく自由な発想が観れ、近い将来どう変化するのか、楽しみです。

これからも斬新な作品を期待しています。

○市長賞 シンフォニー・プリズム 前田量子 海南市

〈評〉 動物をモチーフとした作品は数多くあるが、この作家は長年、生命あるものとそれをとりまく環境や情景を平面描写で表現されている。色彩による表現力は非常に高い。また動物の曲線、背景の直線による画面対比は計算されており、構成面でも技法面でも工夫が見られる。表面だけでなく、作品の底にあるテーマのようなものも感じられ、高い力量で描かれた佳作である。

○市議会議員賞 華 綿野淳子 海南市

〈評〉 淡い色調でSの画面に、大きくバラの花を描いている。花びらのやわらかい質感も表現されており、香りまでも、ただよって来るように感じる。空間の残し方も効果的で色の調子も大変よい。

○教育委員会賞 シャンプー大嫌い 堂脇ゆかり 紀の川市

〈評〉 やわらかい色調で水彩の特徴をよく生かしている。愛犬をとりまく空間の処理の仕方も、窓わくを描くことで、シャンプーを嫌がる愛犬への愛情や室内の空間がよく表わされていて日常生活の一部をよく切りとっている。

○読売賞 土・中・金 栗山 透 和歌山市

〈評〉 今回の出品画の中で唯一の抽象画で目立っていました。まるで銀河の中の星が輝いているような世界で、褐色の下地に金色のドリッピングが斬新で、吸い込まれる様な魅力が感じられました。ただ、少し平板な感じがし、もう少し色彩に変化があれば良いと思いました。

○奨励賞 水面の詩 松田年弘 和歌山市

○奨励賞 さわやかな風 舛岡弘崇 岩出市

○奨励賞 晩秋の柿木 江戸美鈴 和歌山市

○奨励賞 蛍 大山江美子 〃

○奨励賞 欲望のままに 井口奈織子 田辺市

○奨励賞 つたう 橋本菜奈 上富田町

○奨励賞 かわいいこの子を見て 松野杏梨 岩出市

○入 選	また あした	榎本紀子	和歌山市
	絆	松浦咲良	〃
	老木の楽園	岡本英嗣	〃
	雑賀崎漁港	忠 光夫	〃
	木洩れ日の中で	北村好美	〃
	山麓Ⅱ	土井康雄	紀の川市
	雑賀橋から	橋本八重子	和歌山市
	薫風	永廣千瑛子	橋本市
	不老橋	濱田静男	和歌山市
	バラの花	宮本美和子	有田市
	ガラスの虹	林 花辺瑠	紀美野町
	春煌々	船山文子	阪南市
	ジャガイモたち	長井佐起子	紀の川市
	春和景明	吉川蒼真	和歌山市
	週休3日希望	松本早陽	〃
	自由と固執	佐古愛里沙	〃
	ある日の午後	切山 梓	〃
	翔馬	倉崎里美	〃
	幻影	津田利子	〃
	ある日の午後	西野一義	岩出市
	軍艦島	相川謙三朗	海南市
	雅やか	岡本真理	岩出市
	決戦の日	中村麻里	和歌山市
	黒衣の意志	濱 佳余	〃
	溶解	井川咲世	印南町
	初潮	芝峰七奈	田辺市
	夏の収穫	中野 哲	印南町
	独り歩き	溝口瑠美	田辺市
	空とギター	日高海音	白浜町
	裏通りへ	峯 優月	田辺市
	八幡宮へ	土田勝義	和歌山市
	水の都	高松美織	白浜町
	夜警	玉置真央	田辺市
	熊野古道	若野順子	和歌山市
	rainbow dog	岡本陽希	〃
	雨あがりの桂瀬溪谷	中西輝数	紀の川市
	向いは加太大橋	室 延子	和歌山市
	懐古	井上歩華	田辺市
	なに？	赤井美宇	橋本市
	金魚	坂本茉莉花	かつらぎ町
	猫	石井涼菜	九度山町
	おいしい	下蘭るな	岩出市
	晴れ	前中利斗	紀の川市
	真実	田尾愛珠香	岩出市
	にわさき	鉄沢ひかり	〃

やすらひ	菅原夏葵	和歌山市
ゼラニウム	谷中日菜子	橋本市
ベニスにて	坂本桂子	和歌山市
収穫の跡	前田かず子	〃

□無鑑査
○無査 鑑賞

インディファレンス 垠本稔子 和歌山市

〈評〉 生きている人と亡くなった人が対話をしている様子がかがわれます。お互いにメッセージを言い合っているのだと思います。

色づかいが個性的で雰囲気を創るのがうまいです。画面の中の説明しない形がおもしろく感じられます。とてもよい作品だと思います。

南風 2023 暑夏	藤本知世	海南市
新潟雪景・春	杉林雅義	紀の川市
「リリースしました」	寺口雄三	和歌山市
休船	中面弘次	〃
赤いトルソーと…	朝日卓志	〃
桜花らんまん	辻本 渡	〃
窓辺に	松本芳子	〃
奏	小林洋子	〃
Gladiolus	岡崎ひとみ	〃
樹	津田京子	〃
生きてく私	廣田敦子	紀の川市
一座	岡本二美代	海南市
鷹の巣	中東照茂	和歌山市
ナイルの祭祀	檜 ふじゑ	〃
阿伝	吉村明夫	〃
I Love Wine	裕 喜樹	海南市
SOUND	井上育子	岩出市
百合	中尾久代	海南市
立体交差を進む	山田康廣	和歌山市
提示2023	岡崎ゆみこ	〃
朋 2023-D	稲垣紀子	〃
蜜色の森	出口十糸	海南市
vision	田中淳子	和歌山市
風の音	明渡和子	〃
ビタミン C の風景	吉田美紀子	〃
fenêtre blene	無井由希子	〃
翔 2023-A	堀 憲子	〃
平池	岩本 芳	〃
ほろよい	志賀清代子	〃
かえるの楽園	小原千冬子	〃
奇想華	村下良子	〃
わー大きい！	田代悦子	〃
丸瀬布にて	塩崎忠造	〃

□招待

ユリカ	三阪篤子	和歌山市
ドリーミング	米倉くに子	〃
一緒に！	立本みさほ	〃
compress	中西周代	紀の川市
ドラゴン	日下稔之	泉南市
記録	松谷弘子	紀の川市
ホセ・アントニオ通り	楠瀬伸和	海南市
ミモザ	増田清子	和歌山市
何よ！	中野和夫	〃
五月の頃	土井敏弘	〃
出船（下津港）	棗 多江子	有田市
休憩	有本ふみ子	和歌山市
バラ	佐藤 円	〃
Venezia カーニバル	辻本紀公子	紀の川市
ひらいてとじる	南 洋平	和歌山市
ピッコロ・アモーレ	池田章子	和歌山市
浮遊	中森順一	〃
浜辺	榎本敬子	〃
祈りの先に	土井久幸	〃
樹の中で	辻 勝己	〃

□審査員

〔日本画〕

〔全体評〕

昨年に引き続き出品数の減少が気掛かりであり課題のひとつである。少ない出品数ではあるが力作揃いで作家の情熱、想いが伝わってくる。又、墨絵作品もあり喜ばしい状況である。

惜しくも賞に選ばれなかった作品の中に力作があり、今後に期待したい。又、出品数の増えることを祈ります。

○市長賞 薄暑光 武内睦美 有田川町

〈評〉 時の流れが感じられる作品である。

1つの画面に過ぎ去った日々と現代が描かれている。時を経てなお強固な建造物、差し込む柔らかな光、建造物を覆う植物、世の中の有り様が描かれている。夢の跡という言葉が思い浮かぶ。しっかりとした描写力もあって物語性のある作品である。

○市議会議長賞 銀座ファッション 中島宣子 和歌山市

〈評〉 銀座の華やかなショーウィンドウに惹かれた作者の気持ちがあふれている作品だと思う。前を歩く若い女性を入れたことにより、動きもある表現となった。多色を使いながらも全体のトーンがまとまった印象はあるが、主役を絞って他を抑えたと表現したいことがより明確になるのではないかと思う。

技法も工夫し楽しみながら制作している作者の姿勢が伝わる力作だと思う。

○教育委員
賞

エフィソスの猫 前田公子 和歌山市

〈評〉 猫の高貴さが伺える表情をうまく表現しており、ポーズも特有の肉感・やわらかさを画面上に再現する観察力・表現力を感じる。

日本画の岩絵具の特性を生かし、透明感のある美しい色あいも魅力的である。

遺跡を舞台にした虚と実が同居する様な構成は、見れば見る程画面の外にまで想像が広がり、号数以上のスケールを感じさせる力作となっている。

○読売賞

山麓の初冬 田中辰代 橋本市

〈評〉 初冬の上野の風景、墨の濃淡のバランスが大変良く、奥行の深さ、特にすばらしいのが、水の流れを上手に取り入れたのが良かったと思います。

○奨励賞

仏の道 高松武朗 岩出市

○入選

辰が浜漁港 清水英美 有田川町

溪流 栗本啓子 海南市

情熱のカンナ 大橋みどり 〃

□無鑑査

○無査
鑑賞

結ぶ 中井裕子 和歌山市

〈評〉 鏡の前に立ち、髪を結う姿が大変良く、少女の思い出が、たのしく花鳥を配した、構図のとらえ方、又明るく金箔を用いて、未来の夢を感じさせるところが良いと思いました。

街明り 中村正志 和歌山市

ポルト・ヨーロッパ 中 真喜子 〃

サーバルキャット 犬星伸子 泉佐野市

昼さがり 中村 治 岩出市

高千穂峡 田中信子 海南市

新緑の頃 北山令子 有田川町

□招待

富士 崎山誓子 和歌山市

自然湖 亀岡俊和 かつらぎ町

桜 集田信子 和歌山市

師走 吉田晃一郎 〃

春霞 小野千寿子 日高川町

わら干し 吉田見枝 和歌山市

長崎・夜景 加藤叔子 〃

雫の滝 安藤貴久子 〃

こぶし咲く頃 高幣佳代 札幌市

追憶 吉本和代 海南市

桔梗 宮田有子 和歌山市

水路の朝 岩本京子 〃

□審査員

華 南口みどり 橋本市

桜春 田中重造 有田市

紅白梅 増田淑子 和歌山市

休息 角野千佳子 和歌山市

葡萄 清水 薫 〃

〔書道〕

〔全体評〕

今年は出品数が昨年とほぼ同じで、漢字、仮名共に力作ぞろいでした。特に入賞作品は自己の表情を表現し、個性の豊かさを感じました。特筆すべきは、少字数の作品にも見るべきものがあり、今後の応募の指針となる姿だと思いました。

来年もバラエティに富んだ応募を期待します。

○市長賞 郭磨の詩 山口珠鴉 和歌山市

〈評〉 運筆の勢いを表現したすばらしい作品です。文字の大小、線の太細を駆使しながら気脈を一貫させた手腕はさすが見事です。表情豊かな仕上がります。

○市議会議長賞 たびねする 友田嶺花 阪南市

〈評〉 無理のない用筆法で、余白も美しく、濃淡の対比の美しさが印象的です。

変化のある流れを作りながら、山場への盛り上がりを実に効果的で素晴らしい作品に仕上がりました。

○教育委員賞 姜宸英の詩 坂本悠苑 有田川町

〈評〉 大胆な筆の動きの中に軽重をつけ、張りのある線で変化に富んだ素晴らしい作品です。

余白を生かしたスケールの大きい運筆は見事です。

○読売賞 庭のべの 川上哉子 和歌山市

〈評〉 和歌一首を墨と線の変化で表情豊かに伸びやかに美しい空間を造り上げ、書作の妙を心より楽しまれた心地良い作品です。

○奨励賞 春草は 井本舟香 和歌山市

○奨励賞 豊 土橋加香 〃

○奨励賞 賦長洲苑送徐孟岳 前田桃琴 〃

○奨励賞 あふことの 市川志桜 〃

○入選 うつせみの 山本陽煌 和歌山市

送芭上人東歸 西岡清周 〃

延年益寿 井畑貴美子 〃

杜審言詩 山田柊光 紀の川市

喜雨 島 彩苑 和歌山市

今日はただ 中林祥江 紀の川市

白居易詩	津田敏舟	和歌山市
秋の田の	宮本明幸	岸和田市
月夜花下小酌和友人	野田琮園	和歌山市
過南湖偶成	児玉真扇	岩出市
代葛沙門妻郭小玉作	岡 京苑	和歌山市
春夜喜雨	半田陽輝	〃
海恋し	網代知加	〃
松風は	星野聖沙	〃
くもりなき	的場順子	〃
塞下曲	宮本桂秀	〃
古今和歌集歌二首	狩野峰水	岩出市
万寿祺の詩	中前花秀	〃
ことのねに	赤真明舟	和歌山市
久方の	前中景朱	〃
わがやとの	岡本千扇	〃
にはほらん	古川敏美	〃
夏山	大久保 静	〃
隔漢江寄子安	瀧上花音	〃
白雲のたなびく	奥山愛子	〃
陶淵明・其の八	上平桂士	〃

□無鑑査
○無査 鑑賞

明けぬれば 池田一華 和歌山市

〈評〉 筆庄の変化での線の表情の豊かさが作品を引き締め一画一画の思考で紙面をしっかり線でまとめられた美しい作品です。

恩師を偲んで	川崎義典(大幹)	岩出市
白楽天詩	岩本栄光	紀の川市
査愼行の詩	下村真歌	海南市
漫吟	北畠瑞香	和歌山市
陸游の句	長原葵香	〃
芭蕉の句	山下芳翠	〃
陶淵明詩	井上安湖	〃
ほととぎす	上野朱煌	〃
姜宸英詩	吉澤義則	〃
あしびきの	久堀美香代	〃
すみわたる	仲 玲舟	〃
滁州西澗	高木久琴	〃
山部赤人の歌 和歌浦に～	原田彩華	〃
貴公子夜闌曲	白石翠心	〃
むらさめの	佐藤和子	〃
王安石の詩	松尾明苑	海南市
おのづから	木下和美	和歌山市
李白詩	赤坂松琴	〃
舟中(の一節)	奥村香麗	〃
人はいさ	西本紫舟	〃

□招 待

夢	高橋佳舟	和歌山市
濱木綿	野田佳舟	日高町
薛螢詩	宮本穂光	岩出市
三月上巳	中村東光	和歌山市
郭摩の詩	林 香舞	〃
思君恩	岩橋瑞花	〃
あらしふく	濱口朱草	〃
かたはらに	岩岡里恵	〃
福祿綏之	山本清雲	和歌山市
もかりふね	加納敬舟	〃
つきかげに	中原朱穂	西宮市
漢詩	出口抱琴	和歌山市
燕雀	川瀬玲舟	〃
梅	上田大愚	〃
維摩一黙其聲如雷	小澤清華	〃
慈心妙手	田中清苑	〃
唐詩	谷口和光	紀の川市
六言(吟詠聊用述心)	渡辺李光	和歌山市
捲簾邀月碎	上野花園	〃
秋ふくは	瓦間寿舟	岩出市
わたのはら	南 雅仙	紀の川市
王之渙詩	中家光苑	和歌山市
三輪山	角谷真寿	〃
この道や	浅井香園	〃
雲聳奇峰	南坂東英	紀の川市
夕立の	佐藤祥琴	和歌山市
大方の	百溪陽舟	〃
夕暮	西村霖風	〃
杜甫詩	高田佳鳳	〃
花の色は	松倉映舟	〃
雲渡緑絲陰	瀬藤翠琴	岩出市
山川の荒き流れの…	岸畑由喜子	和歌山市
くちびるを	吉本蒼琴	〃
やせ我慢は無用	吉村祥雲	〃
蕭穎士詩	遠藤美園	〃
楓橋夜泊	宮本龍勝	〃
世の中は	土肥歌舟	〃
雲横樹外山	田村 剛	〃
五言句 尾拂花梢露	佐原草苑	〃
牡丹	田端弓子	〃
華岡青洲先生御遺訓	三嶋昭苑	紀の川市
金楹詩	中浦研玉	海南市
雨中卽事	水崎花扇	和歌山市

□審査員	七言対句	小島健堂	和歌山市
	月日	小林明香	〃
	茄子	戸村舟里	〃
	天聲	小澤清湖	〃
	おのづから	名手朱舟	〃

〔写真〕

〔全体評〕

応募数は、昨年より少し減少したようですが、今年も力作が多く寄せられました。上位作品は、内容、構図、プリントの質など、全てが整っていました。しかし、無理なトリミングや画像処理をした作品も散見され、また、ピントの悪い作品も見受けられ残念に思いました。今回は、今までに見たことのある定番の写真ではなく、もっと斬新で、個性あふれる作品を期待しています。

○市長賞 でも、自由気まま 井澤里映 紀美野町

〈評〉 沢山の野良猫と女子高生の触れ合いの場面を捉えた組写真です。野良猫は気ままに暮らし、一方、女子高生は色んな課題を抱えていると思いますが、この女子高生と野良猫の距離がだんだんと縮まっていく様が捉えられています。住みにくい現代社会ですが、この作品を観ると暖かい気持ちになりますね。

○市議会賞 落葉のメルヘン 妹背佐江子 紀の川市

〈評〉 水溜りに沈んだ真っ赤に紅葉した落葉に大樹の陰を重ね、まるで大樹が紅葉しているかの様に表現された点が秀逸です。落葉して細い枝になった木も画面に配し画題をよく表現されています。

○教育委員会賞 初委員 平岩花梨 和歌山市

〈評〉 委員に初めてなった高校生を校舎内で撮ったものと思います。顔を入れていないが、その表情が想像できます。型にはまっていない感じのままの素直な切り取り方で、好感がもてる作品です。

○読売賞 霜の花かざり 中山知子 和歌山市

〈評〉 花に着いた霜柱が、花の周りを飾る首飾りの様に美しく捉えられています。また、花と葉に着いた霜の列を斜め捉えて画面に動きを与えています。色調にも早朝の曇り空が漂い季節感十分の秀作です。

○奨励賞	雪物語	田村久美子	和歌山市
○奨励賞	つかむのは私だ。	岸田瑛乃	岸和田市
○奨励賞	視	谷口幸永	かつらぎ町
○奨励賞	パフォーマー	藤吉修忠	和歌山市
○奨励賞	向こうまで	山口敏幸	有田市
○奨励賞	氷奏の一滴	鶴田圭吾	和歌山市
○奨励賞	みんな席について	田邊勉弘	〃
○奨励賞	らんまん	中 泰一郎	海南市
○奨励賞	美神	井内未香	和歌山市
○奨励賞	Sing sing sing	山下まゆみ	〃
○入 選	夕暮れ	面家陸博	和歌山市
	松が似合う海景	青木隆幸	〃
	ハンター	であいのりこ	〃
	悠久の地	出合善昭	〃
	竜雲たなびく	土井喜澄	〃
	ファイヤードラゴン	堀川和夫	〃
	太古の傷跡	笠松康作	〃
	水の叫び	田中康裕	〃
	巡礼	神谷輝吉	岩出市
	紀の川流し雛	山崎紀久一	紀の川市
	ヨイショ!	児玉 崇	〃
	「いっしょにあそぼ」!	波木敬子	和歌山市
	花托	波木敬子	〃
	祈り	波木基子	〃
	漁具	常田 茂	紀美野町
	意気統合	中西克仁	海南市
	彩雲の池鏡	徳永康人	橋本市
	面（おもて）	田村久美子	和歌山市
	静寂の一刻	西村忠夫	〃
	荘厳なる光景	宮崎真次	〃
	春	森田敏明	紀美野町
	息をひそめる	日高明宏	湯浅町
	真剣勝負	太 一男	和歌山市
	叫び	岡田敏男	〃
	終焉の地	岡田敏男	〃
	轍	小畑光弘	〃
	異空間	小畑光弘	〃
	黄昏	熊本優愛	〃
	青春のひとつき	桑嶋愛華	〃
	時の待ち人	久米向日葵	〃
	磨かれた技術	山中悠生	〃
	白の世界	高橋紅葉	〃
	自然ノ鏡	小川帆乃花	〃
	長生きしてね	青木理子	〃
	Sakura Way	吉村 登	〃

Window	吉村 登	和歌山市
祭・それぞれの手	松尾昌夫	〃
街角	野島 満	〃
狙われた天守閣	土屋義和	紀の川市
かえりみちで	清水賢治	和歌山市
予兆	鶴田圭吾	〃
青し波	山田隆英	海南市
妖怪	辻 雅司	和歌山市
薄霧	田邊勉弘	〃
パンデミック	中道克巳	海南市
朝日	石川芽依	阪南市
爛漫	松浦義教	和歌山市
夕映えの刻	大橋充幸	海南市
落ちないで!	中山知子	和歌山市
散歩	北畑充朗	〃
ストライプ	北畑充朗	〃
時の案内人	井内未香	〃
静寂	川幡敏次	海南市
刻の流	山田知恵子	〃
プロローグ	太田信子	和歌山市
スローライフ	川口喜寛	橋本市
黄昏	山東義明	海南市
TAKE OFF	林 和宏	和歌山市
おとぎの国	林 和宏	〃
マイハウス	近藤義之	御坊市
雨霧の記憶	酒井雅治	橋本市
メッセージ(私たちはみんな成長します)	酒井みゆき	〃
タイムトラベル	山下 仁	和歌山市
花よりだんご	西牟田えりか	〃
百瀬の滝を登りなば	井澤里映	紀美野町

無鑑査
無鑑賞

雨上がり 榎本隆志 和歌山市

〈評〉 夏祭りの直前に大雨が降ったのでしよう。

足元がぬかるむ道を浴衣で歩く女の子二人。楽しいはずのお祭りの日、一人は笑顔、もう一人は足元が悪くてふて腐れた表情なのが対照的で面白いです。

火の海より	山本一也	御坊市
アピール	池田義成	和歌山市
晩秋の並木道	児玉正雄	岩出市

<input type="checkbox"/> 招待	ある日	石橋洋一	和歌山市
	春景	松原勝次	〃
	晴れた日	山下廣子	〃
	構造の美	小池秀和	〃
	街角	小西弘子	〃
	あぜのきらめき	坂口 享	〃
	枯蓮	西嶋誠造	〃
<input type="checkbox"/> 審査員	露地裏	山中健次	かつらぎ町
	生命力	中道ちあき	海南市
	酷暑	山下良富	和歌山市

〔彫塑〕

〔全体評〕

今回出品された2点の作品は、表現の素材として、木や石や粘土といったオーソドックスな彫塑表現とは異なる、いわゆるミクストメディアと言われる立体表現でした。現代社会にひそむ問題の反映だろうかと考えてしまいますが、オーソドックスな素材による直感的に美に迫る表現も見てみたいものです。

読売賞 「リリースしました」 寺口雄三 和歌山市

〈評〉 日常どこにでも見かける素材を使ってがっちり立方体に組み立てた作品、扉を開けると浮遊する物体が今生き返った様に現われる。静と動を巧みに表現し、今後にも期待が持たれる作品を制作した。

奨励賞 威風堂々 坂 成海 日高町

招待 天国あるいは地獄への階段 大木譲司 みなべ町

審査員 馨 橋本和明 湯浅町

作品 23-01 岡本勝利 広川町

前を向いて走ろう 松谷靖夫 紀の川市

〔工芸〕

〔全体評〕

出品数が昨年より増えて大変嬉しいですし、作品一つ一つに作者の個性が光る作品が多く見られて楽しい気分させられます。

今後の御出品を期待します。

○市長賞 鉄釉飛カンナ皿 稲垣博一 紀の川市

〈評〉 ロクロ成形の技術の確かさと飛カンナと鉄釉がマッチして全体的にバランスのとれた形体で優しさが感じられる作品です。

○市議会 議長賞 まんだら華 飾り盆 岡部志津代 泉南市

〈評〉 まんだら華を安定した構図で漆芸に於ける卵殻貼り技法で表現し無難に仕上げた作品である。

○教育委 員会賞 春花 黒岩扶実 和歌山市

〈評〉 春の花が散りゆく姿を藍染の絞り染めで表現された作品です。作品の上半分の構図にひと工夫あればより良かったと思いますが丁寧に絞り染めされた秀作です。

○読売賞 みんな同じなのだろうか 出原直武 和歌山市

〈評〉 この作品には美的表現の要素を充分にそなえておりシンプルで独創性、物語性があり面白い作品ですがもう少し不ぞろいであればと思います。

○奨励賞 破顔大中笑 吉川直樹 和歌山市

○入選 天と地と私 68ルネ D ^{デカルト} 千田浩司 和歌山市

線文壺 稲垣博一 紀の川市

青胴窯変八角花器 田中秀直 和歌山市

あそば 出原みち子 〃

傾 Askew 嘉山頼州 〃

渦巻文様八寸鉢 伊丹哲哉 美浜町

甕り平安・黒松 佐古善三郎 和歌山市

□無鑑査

○無鑑査 黒泥彫文扁壺 宮内 昇 貝塚市

〈評〉 非常に丁寧に作られた作品で隅々まできっちりと作品造りで彫られており、黒堀が全体を引きしめております。バランスとれた形体とグラデーションも調和した落ちついた作品です。

青釉壺（森） 久我口文雄 和歌山市

紫富士 木下美恵子 〃

マット釉花器 牧野敦子 〃

□招待

天目釉鉢（再び） 並松雄二 岩出市

貫入青磁壺 西岡伊津子 阪南市

鉄釉鉢 安里 満 〃

紺釉薬紋大皿 嶋本博文 和歌山市

野宮 鈴木節子 〃

秘密の花園 後藤佳世子 〃

華 奥野萬知子 〃

焼×窯変水盤 稲田 績 〃

in the whirlpool（渦の中） 岡本昌昭 〃

清流（創作刺繍） 田中やす子 〃

育 河野ゆみ子 〃

焼締窯変花器 嶋吉淑進 阪南市

赤耳付花器 寒川栖豊 白浜町

□審査員

煌 田中利恵子 有田市

籠目花生 喜寿忠男 〃

連作天空 山田健二 海南市

〔いけ花〕

〔全体評〕

この3年余りコロナ禍に見まわれ現在も続いているが最近は前向きに良い変化が出てきた様である。現状の対応力が問われる中、「こんな時だからこそ」の思いが作品に反映されているように感じた。作品数は前年度を上回り意気込みも感じられる。構成力、花材との調和など制作過程の丁寧さも見えてくる。日本固有の伝統文化「華道」の表現方法を最大限いかして個々の感性が次の作品に繋がることを願っています。

○市長賞 石田エヴァ如月 和歌山市

〈評〉 ガラスの器に、大きいネオレゲリアと、ひまわりを取り合わせている。色彩の調和が良く爽やかで、清々しくバランスの取れた明快な作品に仕上がっている。

○市議会議長賞 東岡百合子 和歌山市

〈評〉 ボリュームの有る花材を上手くまとめて生けられています。

足元に入れられた洒落木が印象的で作品を引き締めて力強さを感じる良い作品です。

○読売賞 中山美香 紀の川市

〈評〉 まっ白の造形物の中に紫とグリーンを上手に配置しまとめられている目を引く作品です。何かひとつ明るい花材がポイントに入っていれば尚良ろしかったと思います。

○入選 安成正美 和歌山市

石本真奈美 〃

中村喜美子 〃

北野亜由佳 〃

□無鑑査

○無鑑賞 梶本幸嗣 和歌山市

〈評〉 椰子の木の皮で構成した足元からの立ち上がりの繊細な部分と椰子の動線が上部にまとめたモンステラ、アンズリウムの面とが見事に調和している。空間に更に椰子の曲線が存在することでリズム感も生まれ細部に神経の行き届いた作品です。

○招待推挙 川尾久美 和歌山市

楠石佳代 和歌山市

藤井豊節 岩出市

島崎貴子 和歌山市

□招待

岡崎玉峰 和歌山市

谷口れい子 〃

湯川 章 〃

藤本香代 〃

橋本雅史 〃

金野美智子 〃

□審査員

宮脇尚子(尚甫) 和歌山市

三草志津 〃

福永八千代 〃

一般応募・入賞・入選数

	応募点数	応募者数	入賞数	奨励賞数	入選点数
洋画	64	60	4	7	49
日本画	8	8	4	1	3
書道	34	34	4	4	26
写真	88	72	4	10	65
彫塑	2	2	1	1	0
工芸	14	11	4	1	7
いけ花	7	7	3	0	4
計	217	194	24	24	154

展示点数

	一般	無鑑査	招待	審査員	計
洋画	60	18	31	5	114
日本画	8	7	12	5	32
書道	34	29	35	5	103
写真	79	4	7	3	93
彫塑	2	0	1	3	6
工芸	12	7	10	3	32
いけ花	7	5	6	3	21
計	202	70	102	27	401